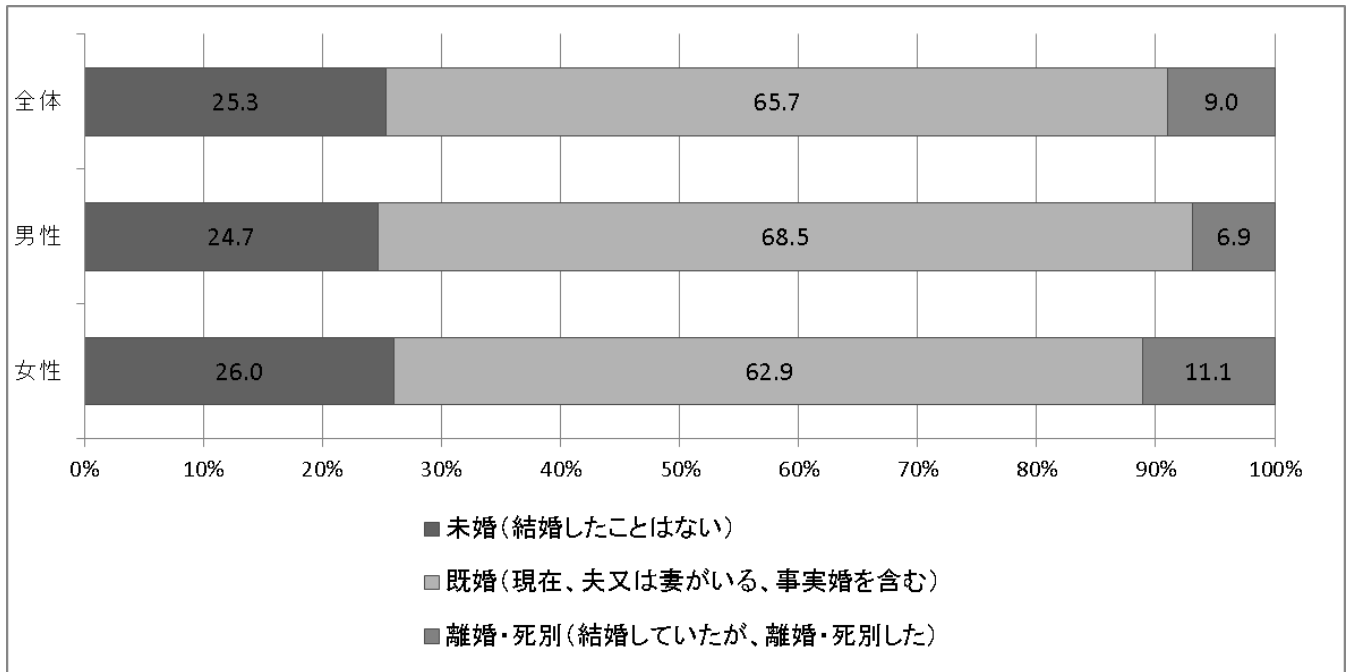


Ⅲ 配偶者からのDVに関する認識と被害経験、被害を受けたときの対応

(問) 現在結婚していますか。



【どのような行為を暴力だと思うか】

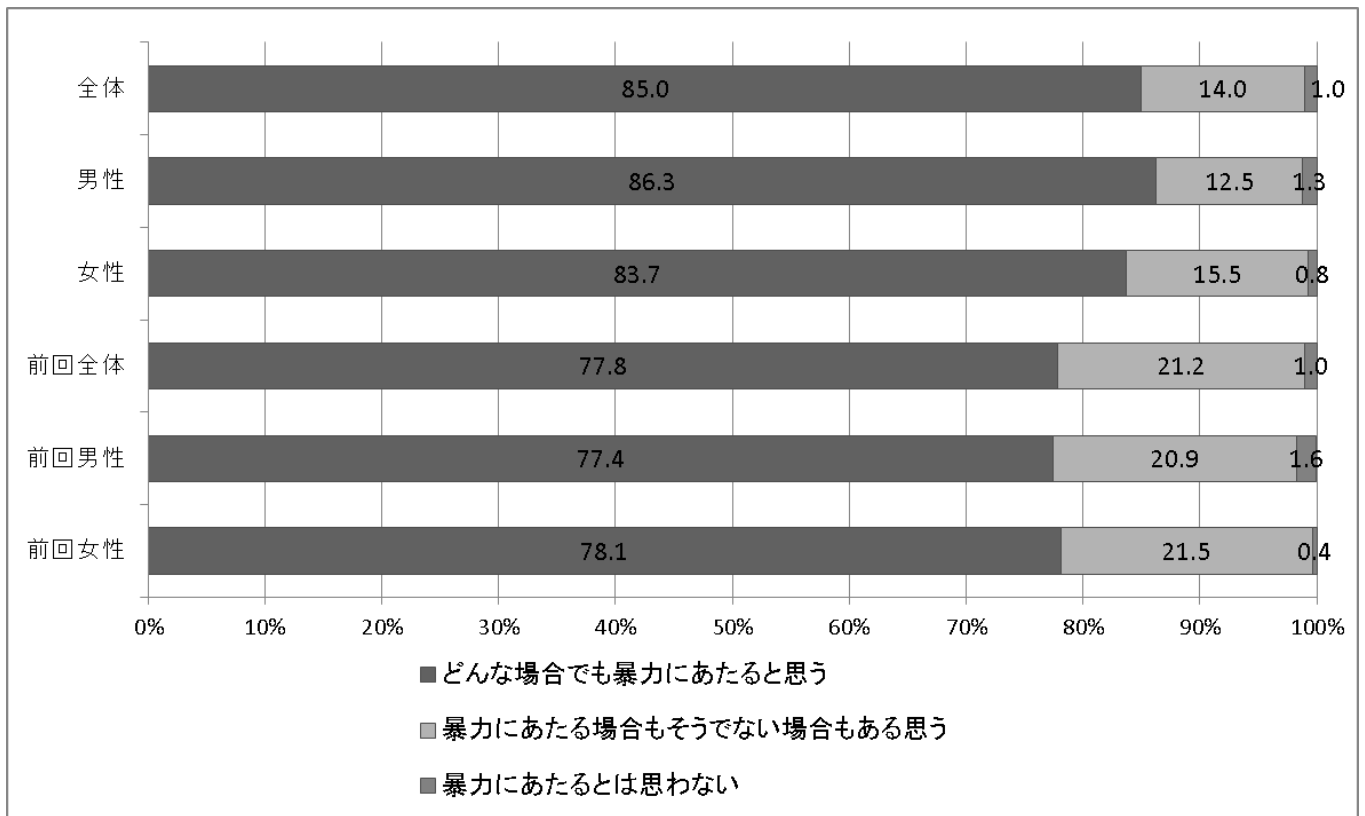
「どんな場合でも暴力に当たると思う」が8割以上のものは、「手でぶったり、足で蹴る」「物をなげつける」「人格を否定するような暴言など相手の嫌がることを言い続ける」「嫌がっているのに性的な行為を強要する」「避妊に協力しないし、責任もとらない」「携帯電話のカメラで裸などの写真を撮られ、それを使って嫌な思いをさせられる」「携帯電話を故意に壊されたり、データを破壊される」となっている。7割以上のものは、「『誰のおかげで生活できるんだ』とか、『甲斐性なし』などと言う」「見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」となっている。5割未満のものはなかった。

前回調査と比較すると、「どんな場合でも暴力に当たると思う」が5ポイント以上高いのは、「手でぶったり、足で蹴る」「物をなげつける」「殴るふりをして、おどす」「長時間無視し続ける」「『誰のおかげで生活できるんだ』とか、『甲斐性なし』などと言う」「大声でどなる」「嫌がっているのに性的な行為を強要する」「見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」「金の使い道を細かくチェックしたり、生活費を渡さない」「行動や交友関係、電話、メールを細かく監視する」「携帯電話を故意に壊されたり、データを破壊される」となっている。

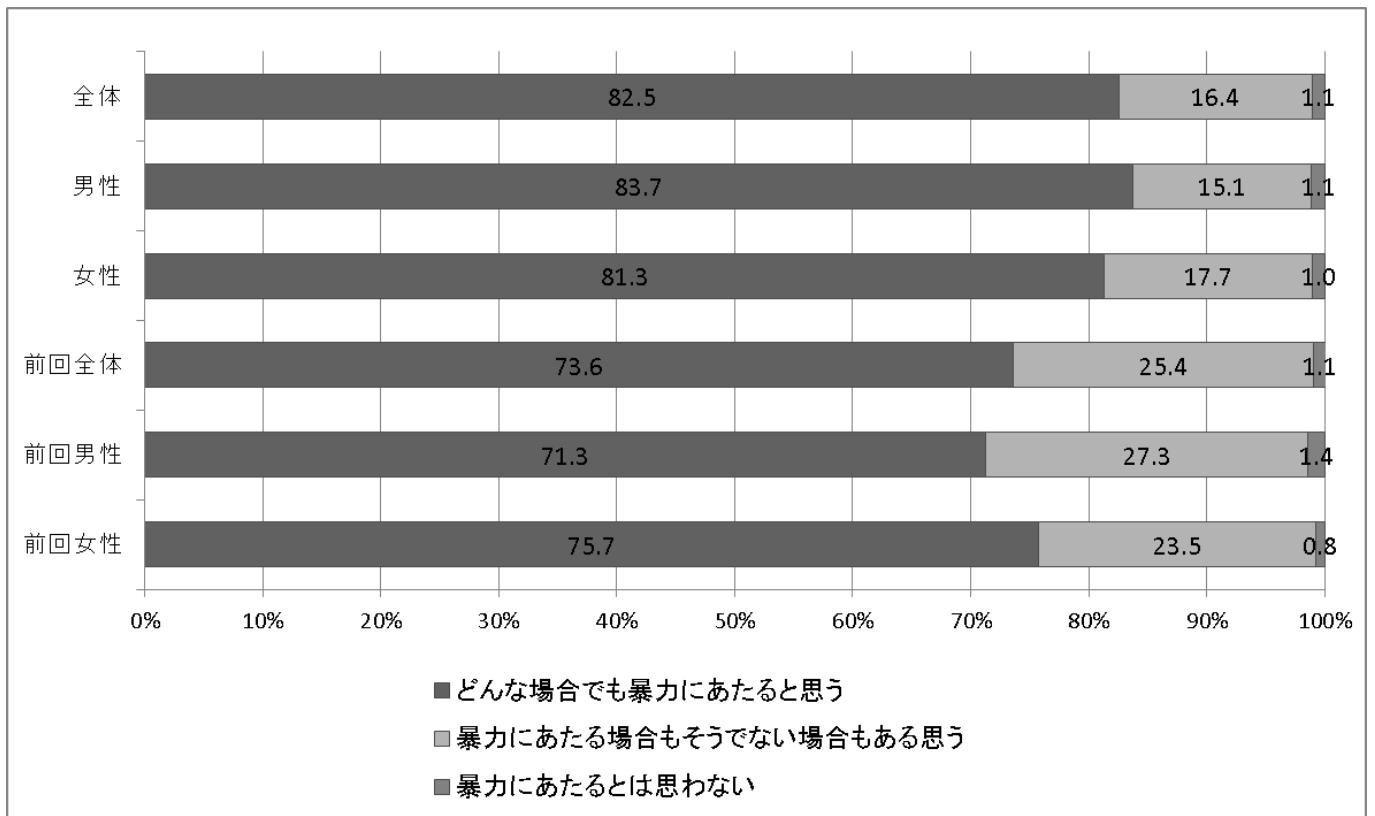
(問) 次のことが夫婦間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。

※前回調査との比較は、同じ選択肢がある場合のみ行っている。

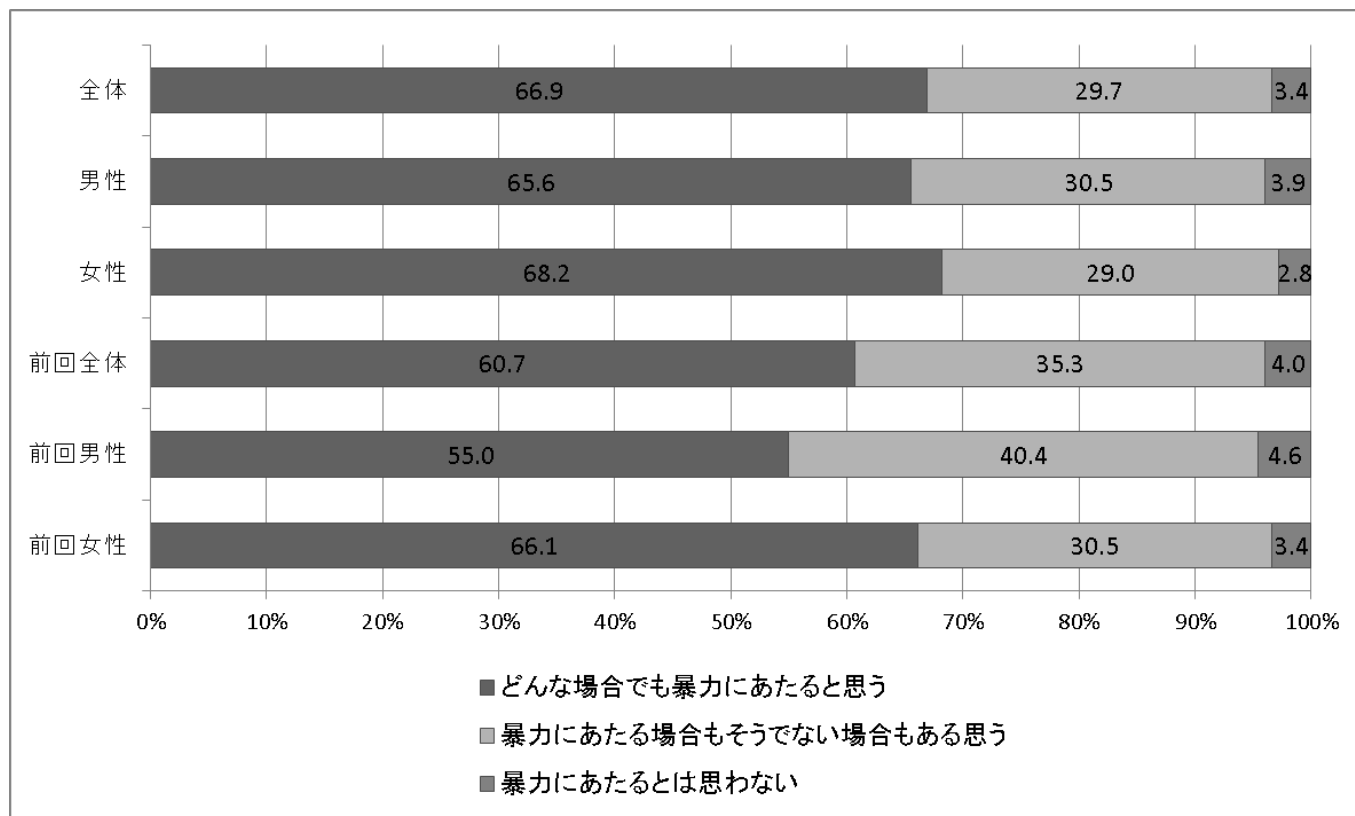
A 手でぶったり、足で蹴る



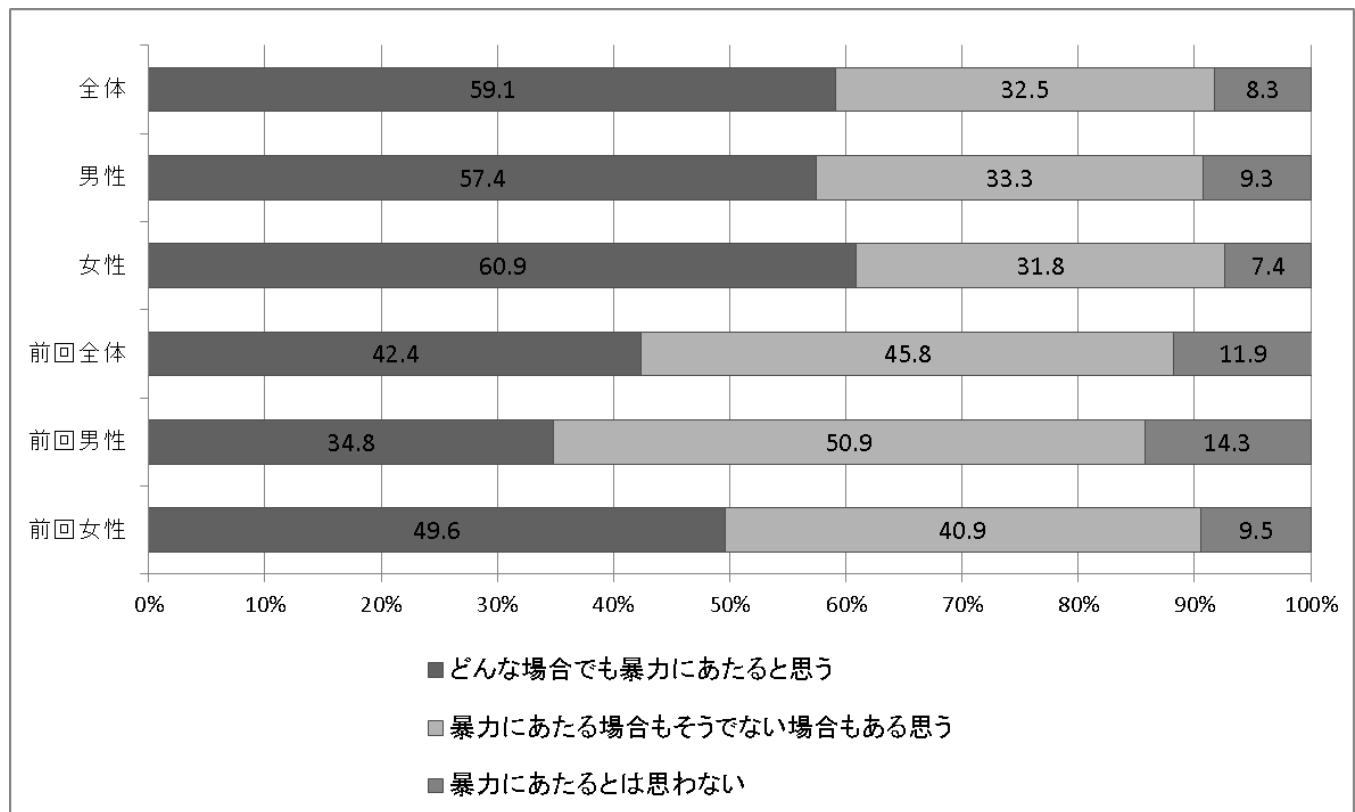
B 物を投げつける



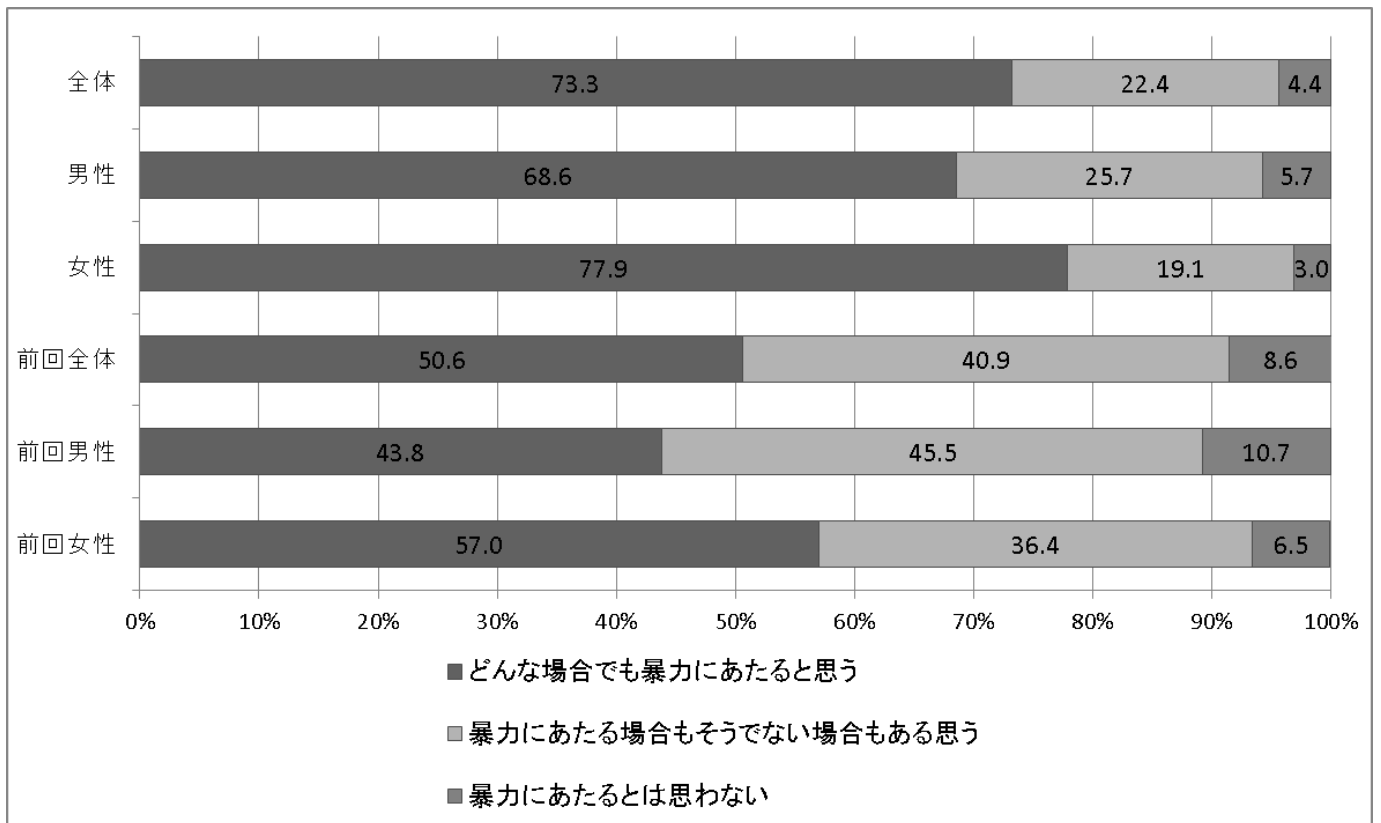
C 殴るふりをして、おどす



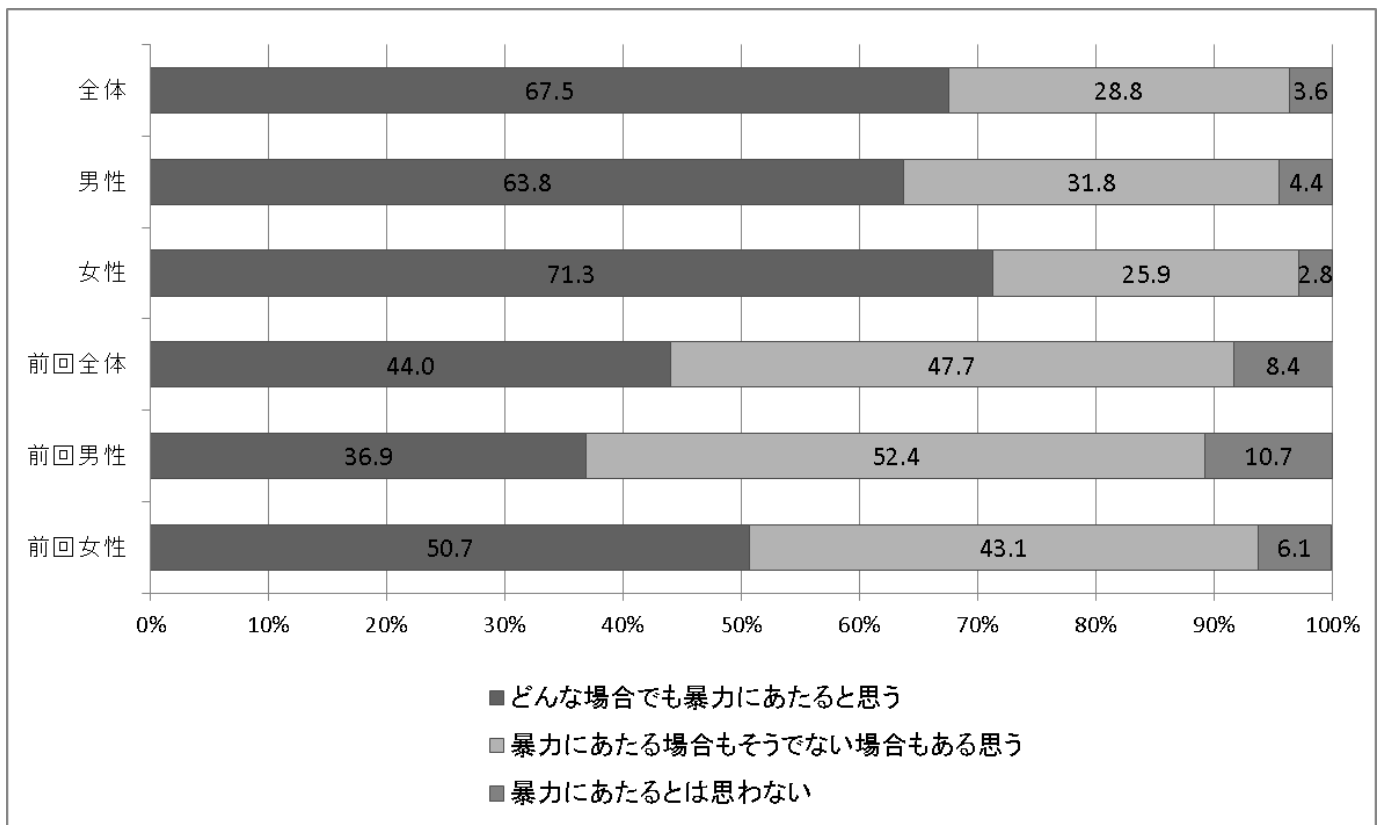
D 長期間無視し続ける



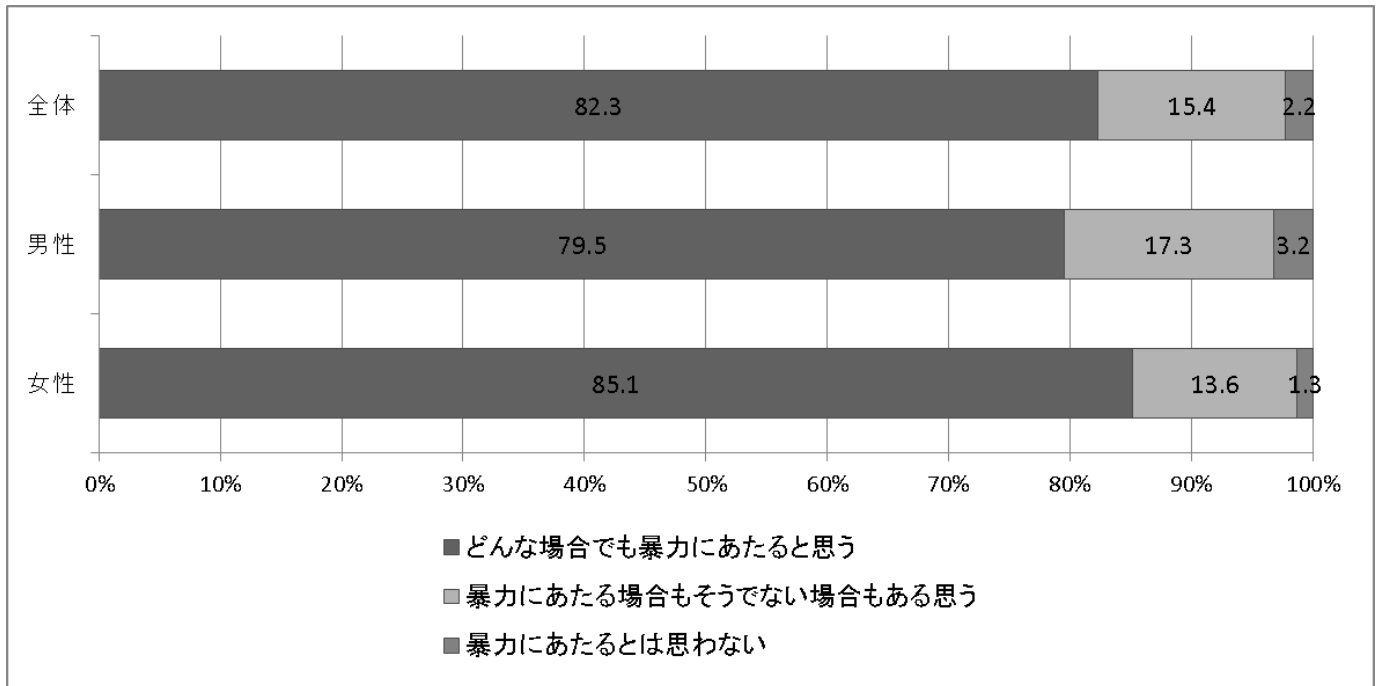
E 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性なし」などと言う



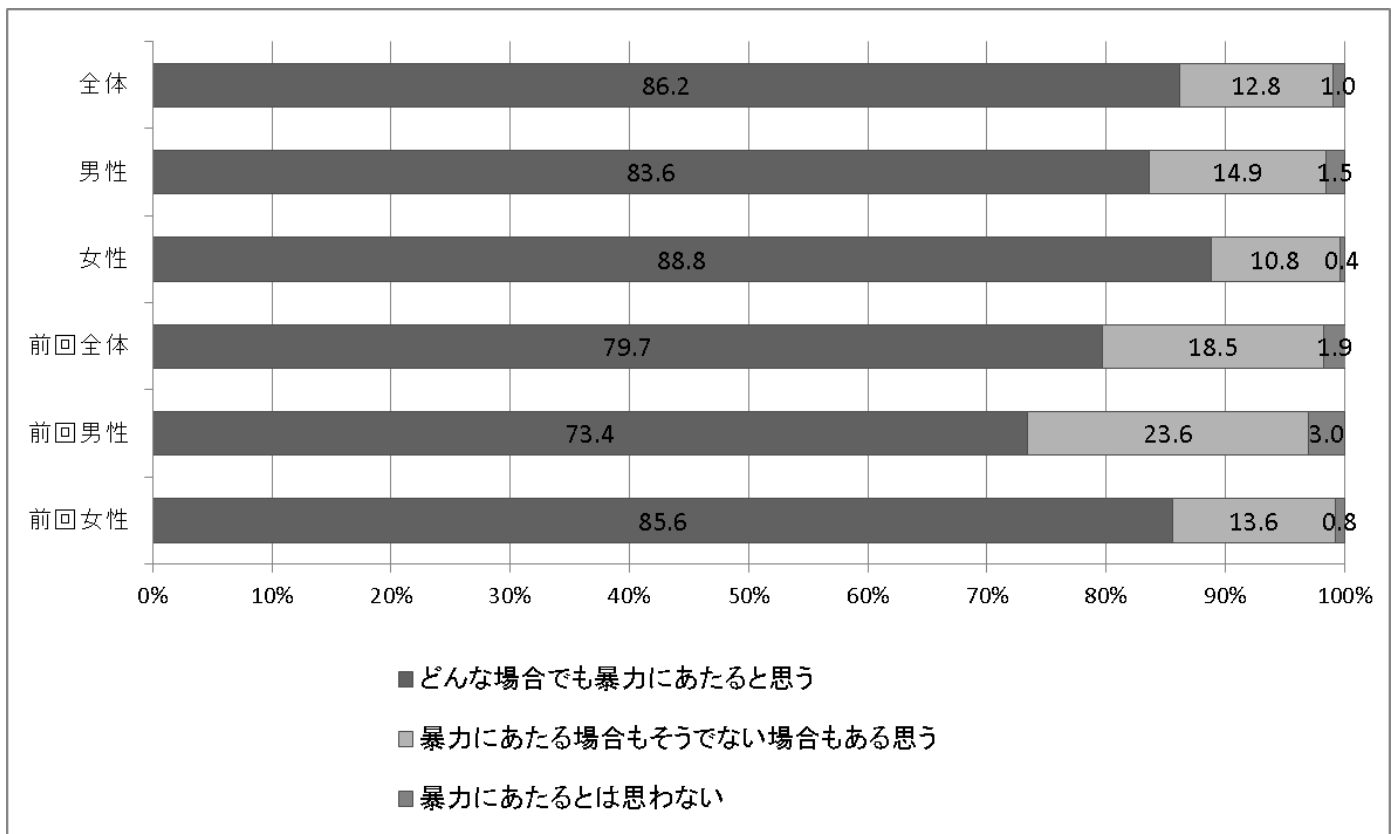
F 大声でどなる



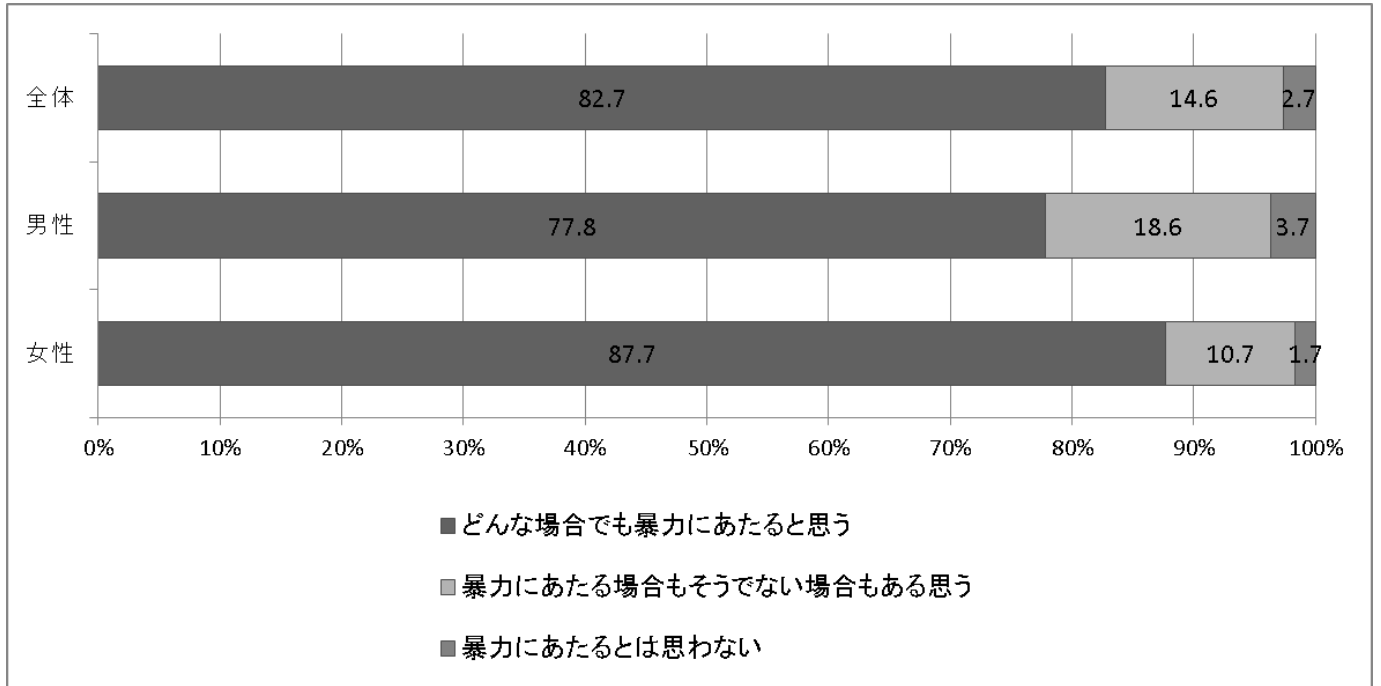
G 人格を否定するような暴言など相手の嫌がることを言い続ける



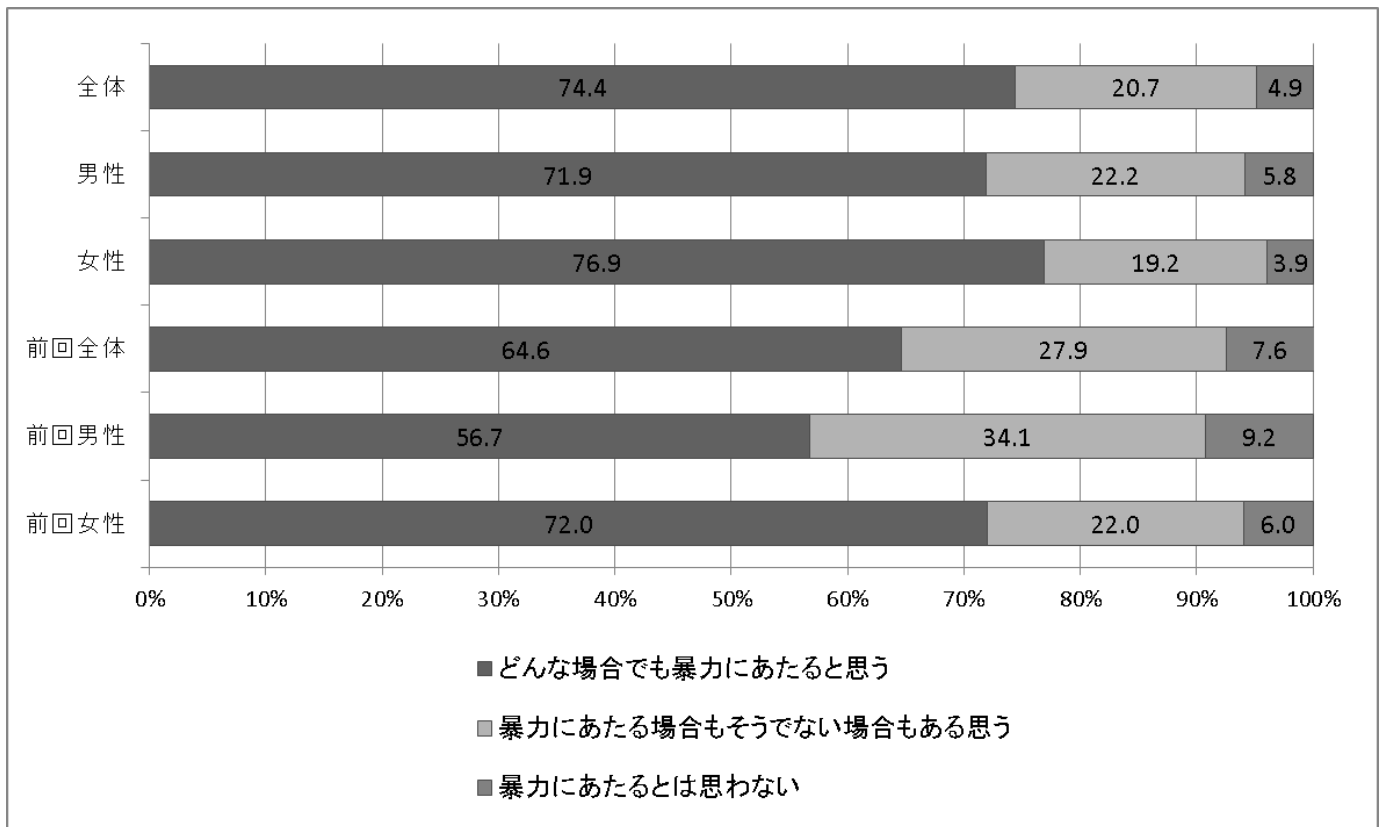
H 嫌がっているのに性的な行為を強要する



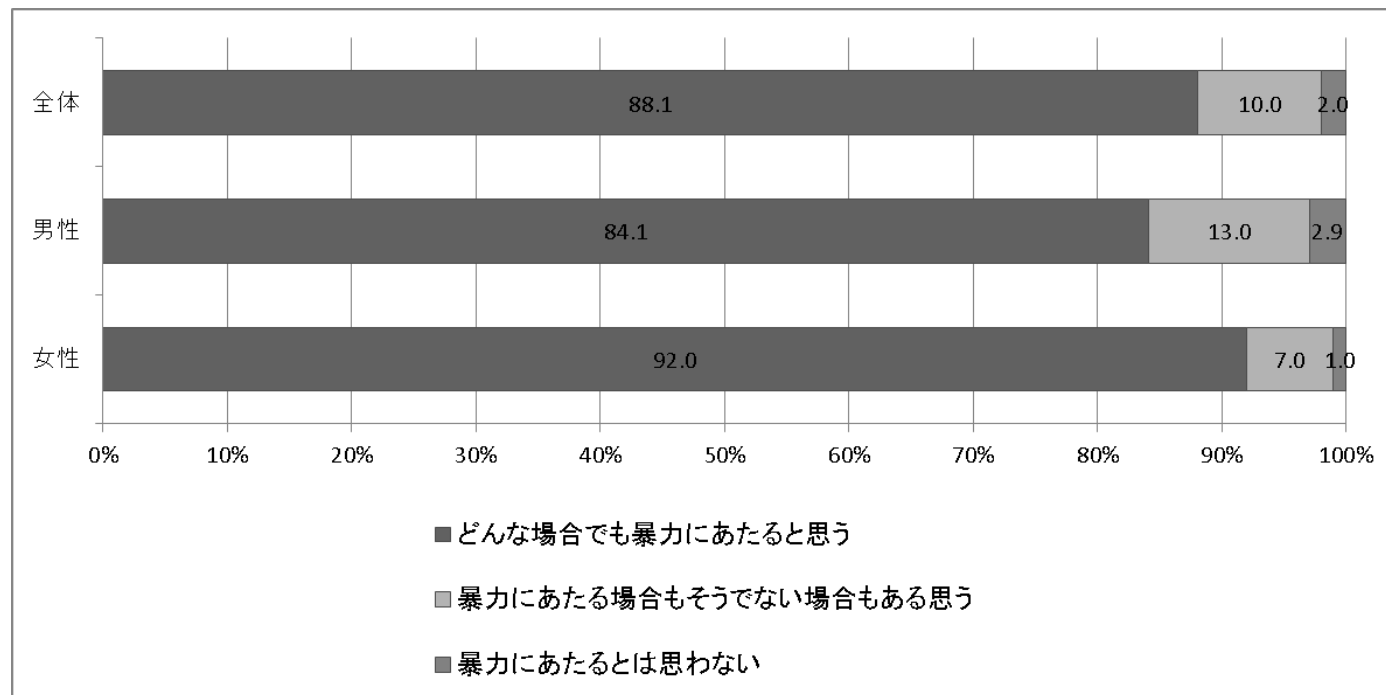
I 避妊に協力しないし、責任もとらない



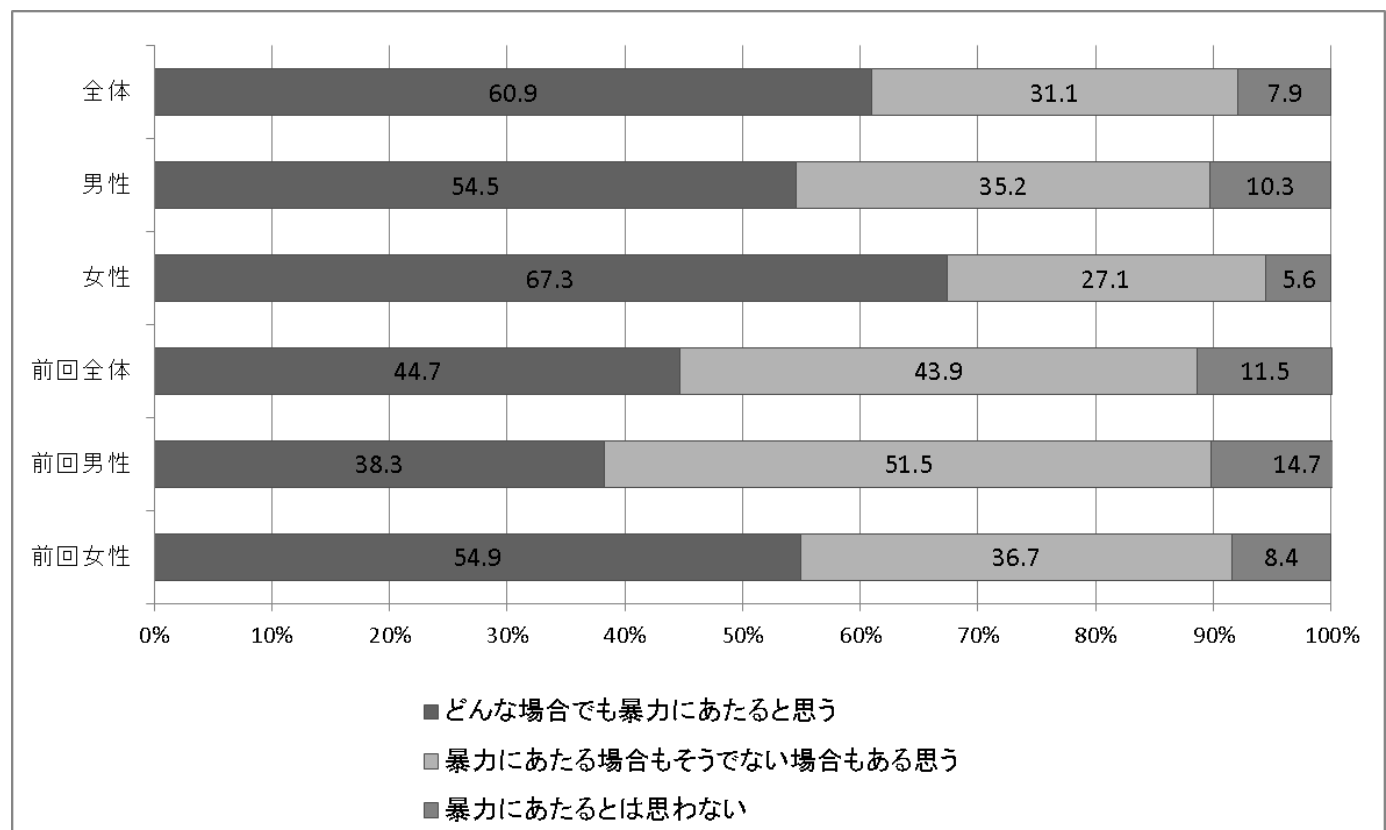
J 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる



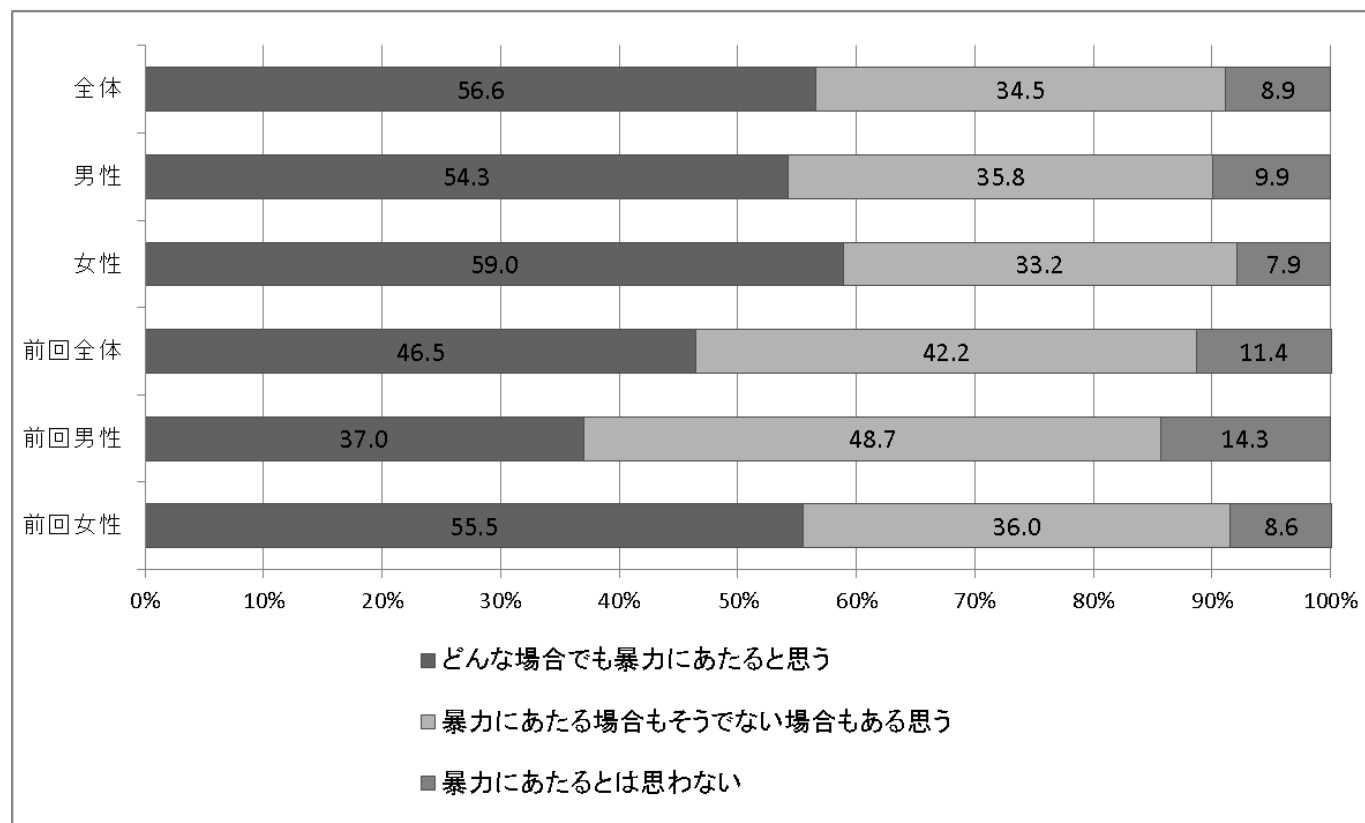
K 携帯電話のカメラで裸などの写真を撮られ、それを使って嫌な思いをさせられる



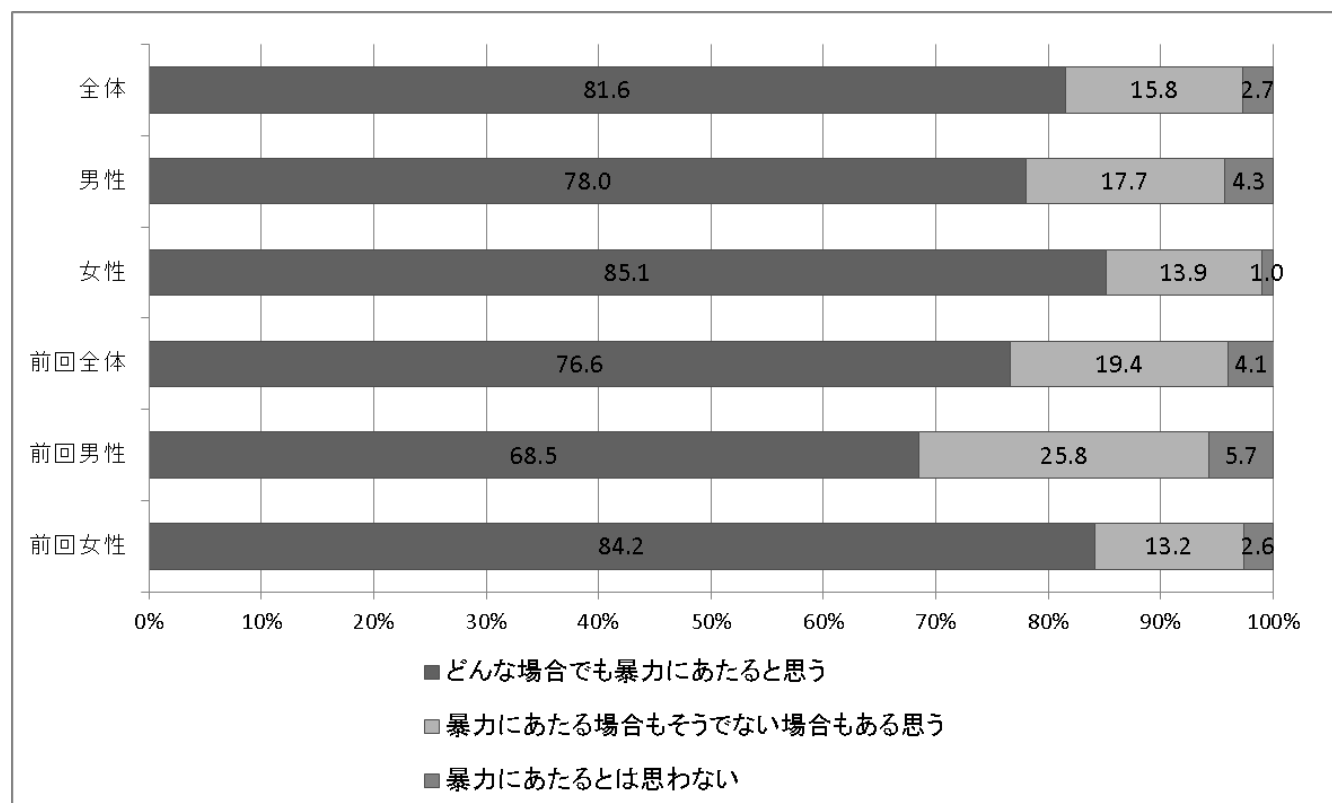
L 金の使い道を細かくチェックしたり、生活費を渡さない



M 行動や交友関係、電話、メールを細かく監視する



N 携帯電話を故意に壊されたり、データを破壊される

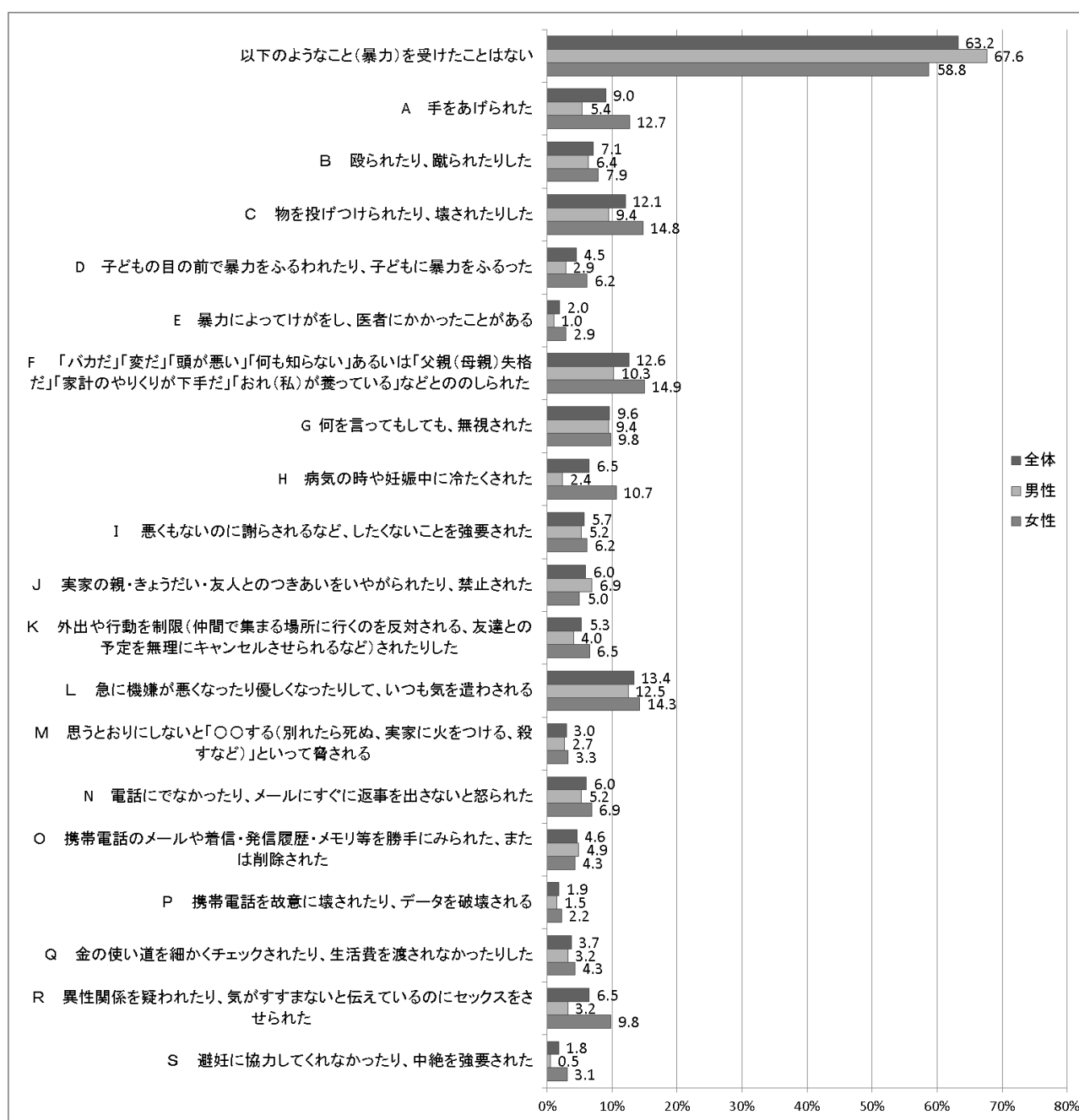


【被害経験の有無】

暴力を受けたことがある人（36.8%）のうち、「急に機嫌が悪くなったり優しくなったりして、いつも気を遣わされる」13.4%、「『バカだ』『変だ』『頭が悪い』『何も知らない』あるいは『父親（母親）失格だ』『家計のやりくりが下手だ』『おれ（私）が養っている』などとののしられた」12.6%の精神的な被害、「物を投げつけられたり、壊されたりした」12.1%の身体的な被害の順で高くなっている。

（問）あなたはこれまでに配偶者から次のようなことをされたことがありますか。（いくつでも）

- A～E なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた
- F～P 人格を否定するような暴言や、自分もしくは家族に加害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫、何を言っても無視するなどの精神的な嫌がらせを受けた
- Q 金の使い道を細かくチェックされたり、生活費を渡されなかったりするなど経済的な圧迫を受けた
- R～S 異性関係を疑われたり、気がすすまない伝えていのにセックスをさせられる、避妊に協力してくれないなど性的な強要を受けた

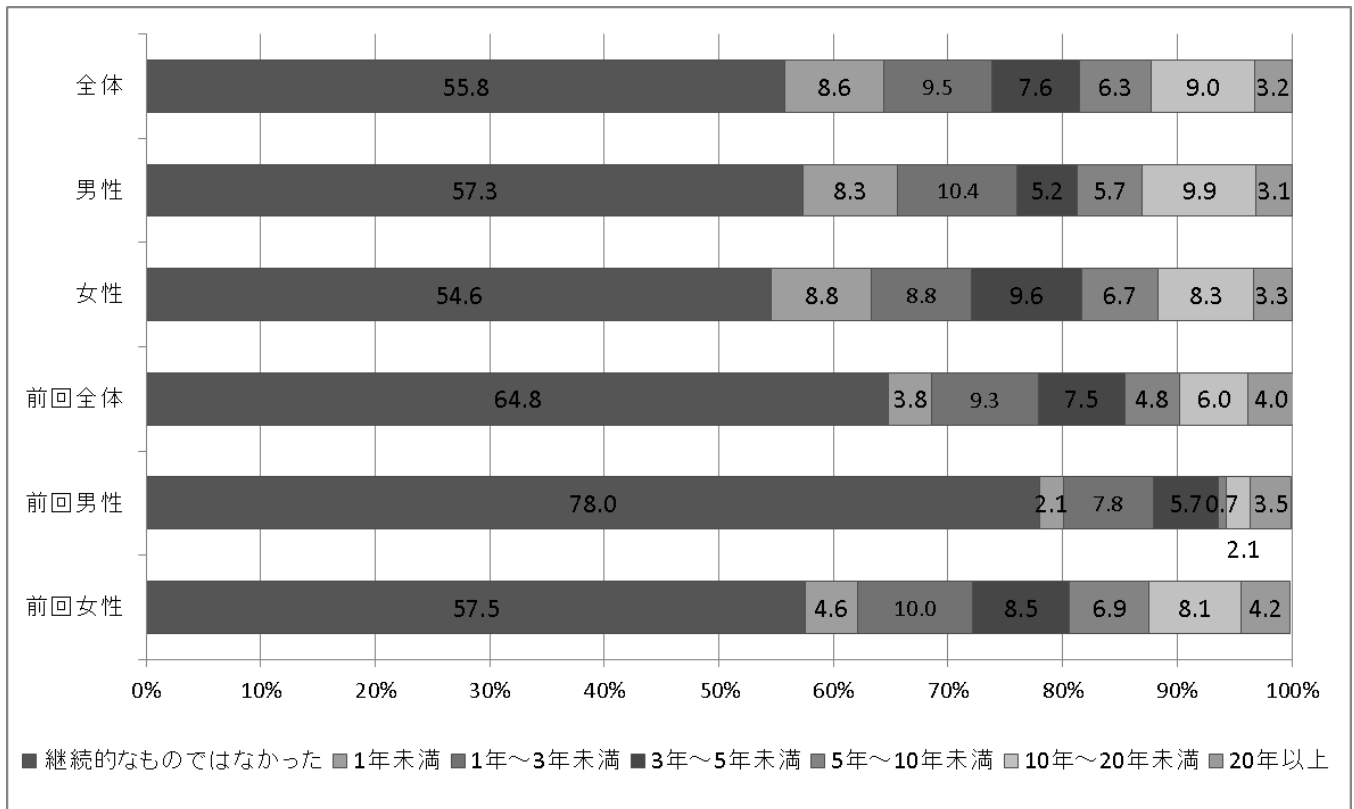


【暴力が続いた期間】

被害を受けた期間は、「継続的なものではなかった」が55.8%（男性57.3%、女性54.6%）で、1年以上続いたのは35.6%（男性34.4%、女性36.6%）となっている。

前回調査と比較すると、「継続的なものではなかった」が9.0ポイント（男性20.7ポイント、女性2.9ポイント）低下した。1年以上続いたのは4.2ポイント増加した。（男性14.5ポイント増加、女性は1.3ポイント減少）

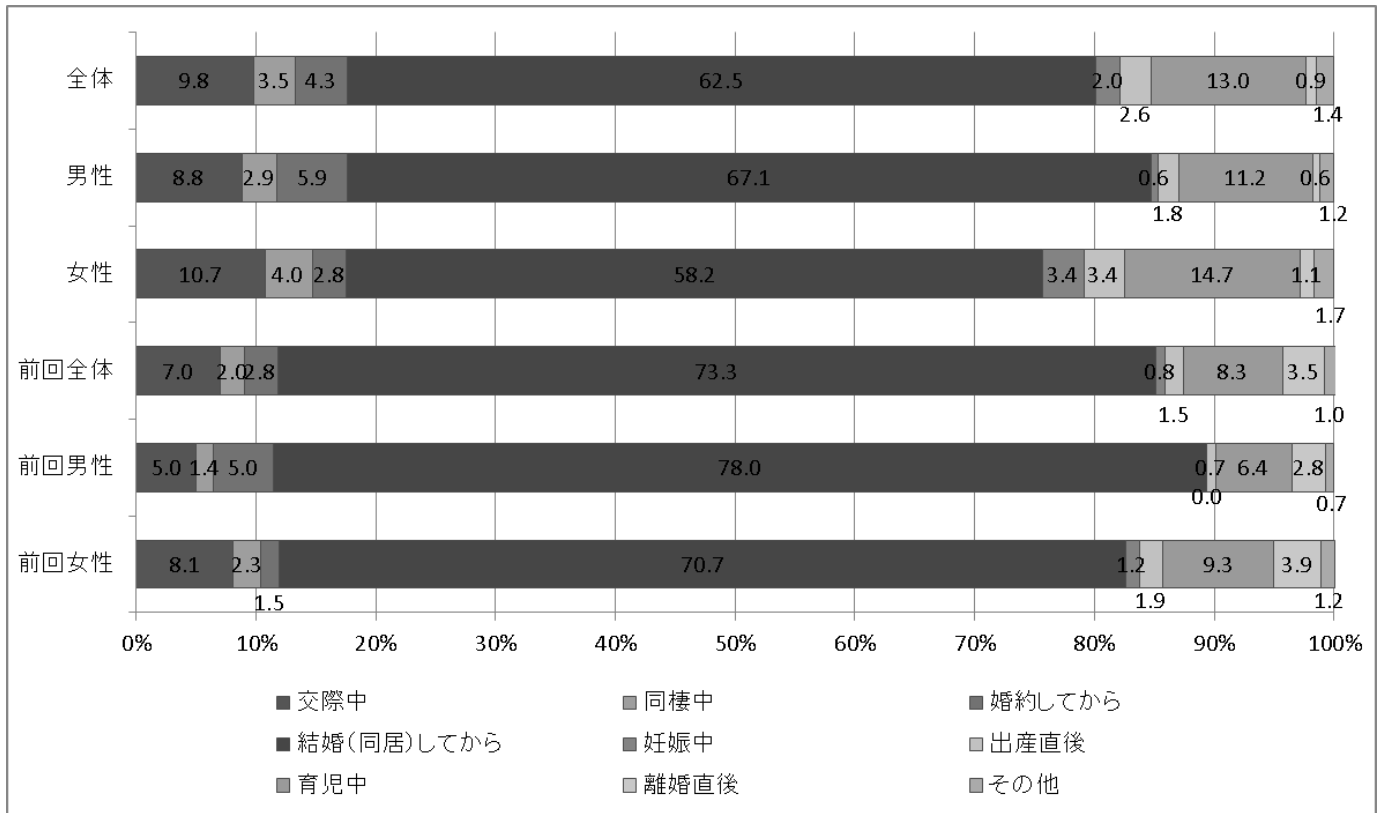
（問）その行為はどのくらいの期間続きましたか。又は続いていますか。（直近のケースを1つ）



【暴力を受けた時期】

初めてDVの被害を受けた時期は、「結婚（同居）してから」が62.5%で最も高い。次いで、「育児中」13.0%、「交際中」9.8%の順に多く、前回調査よりも「結婚（同居）してから」のみ割合が減っている。

(問) あなたがそのような行為を最初に受けたのはいつですか。(直近のケース1つ)

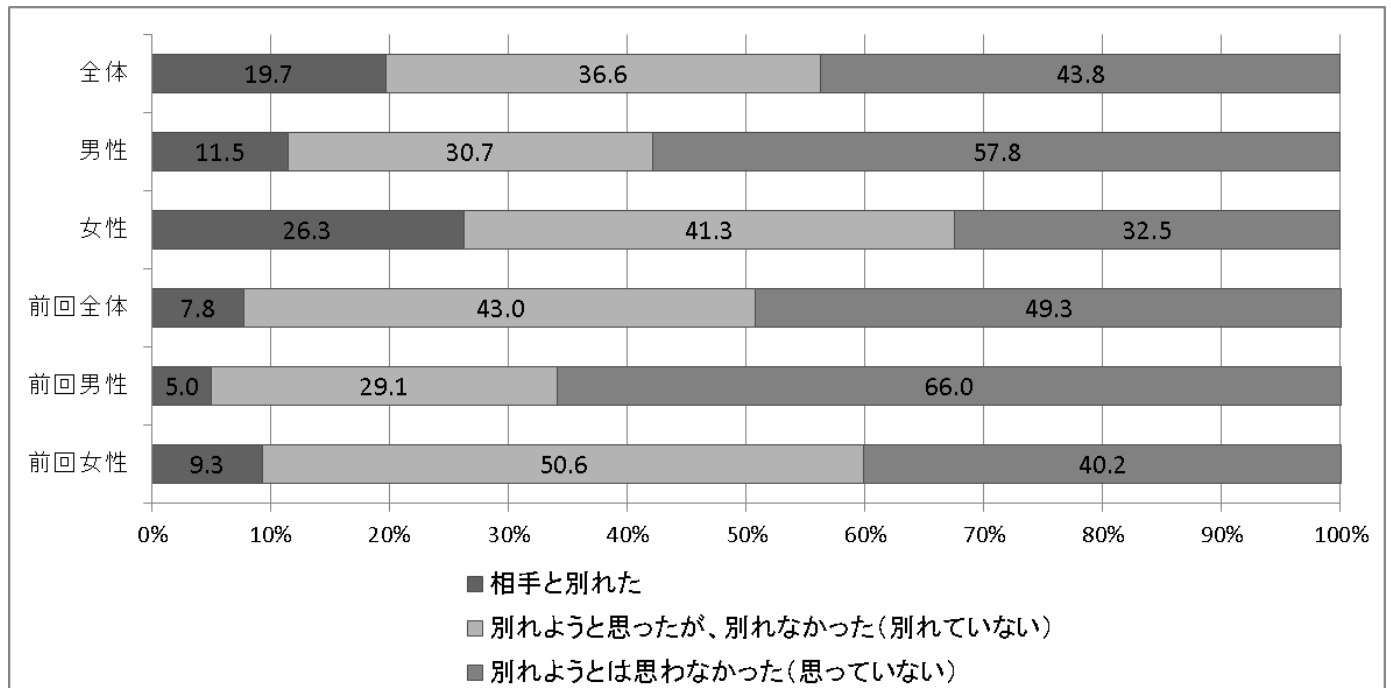


【暴力を受けたとき、どうしたか】

「別れようとは思わなかった」43.8%、「別れようと思ったが、別れなかった」36.6%で、「相手と別れた」は19.7%と少ないが、前回調査と比べ「相手と別れた」割合は増えた。

男女別では、「別れようと思ったが、別れなかった」「別れようとは思わなかった」の男性割合が、女性と比べて前回同様高いままである。

(問) そのような行為を受けたとき、どうしましたか。(直近のケース1つ)

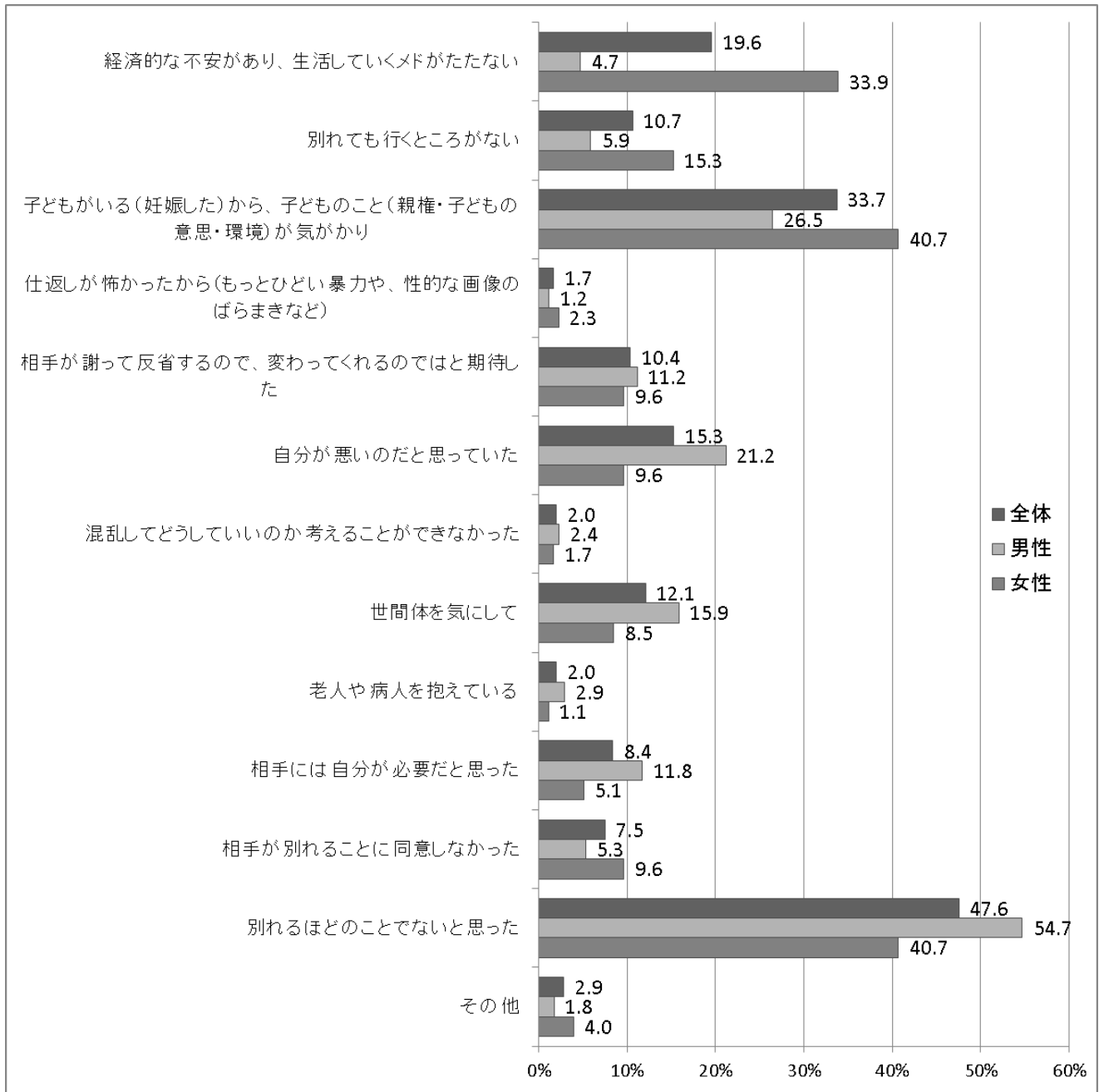


【相手と別れなかった理由】

「別れるほどのことではないと思った」47.6%、「子どもがいるから、子どものことが気がかり」33.7%、「経済的な不安があり、生活していくメドがたたない」19.6%の順に高い。

男女別では、女性の方が5ポイント以上高いのは「経済的な不安があり、生活していくメドが立たない」「別れても行くところがない」「子どもがいるから、子どものことが気がかり」、男性の方が5ポイント以上高いのは「自分が悪いのだと思っていた」「世間体を気にして」「相手には自分が必要だと思った」「別れるほどのことではないと思った」となっている。

(問) 相手と別れなかった理由は何ですか。(3つまで)

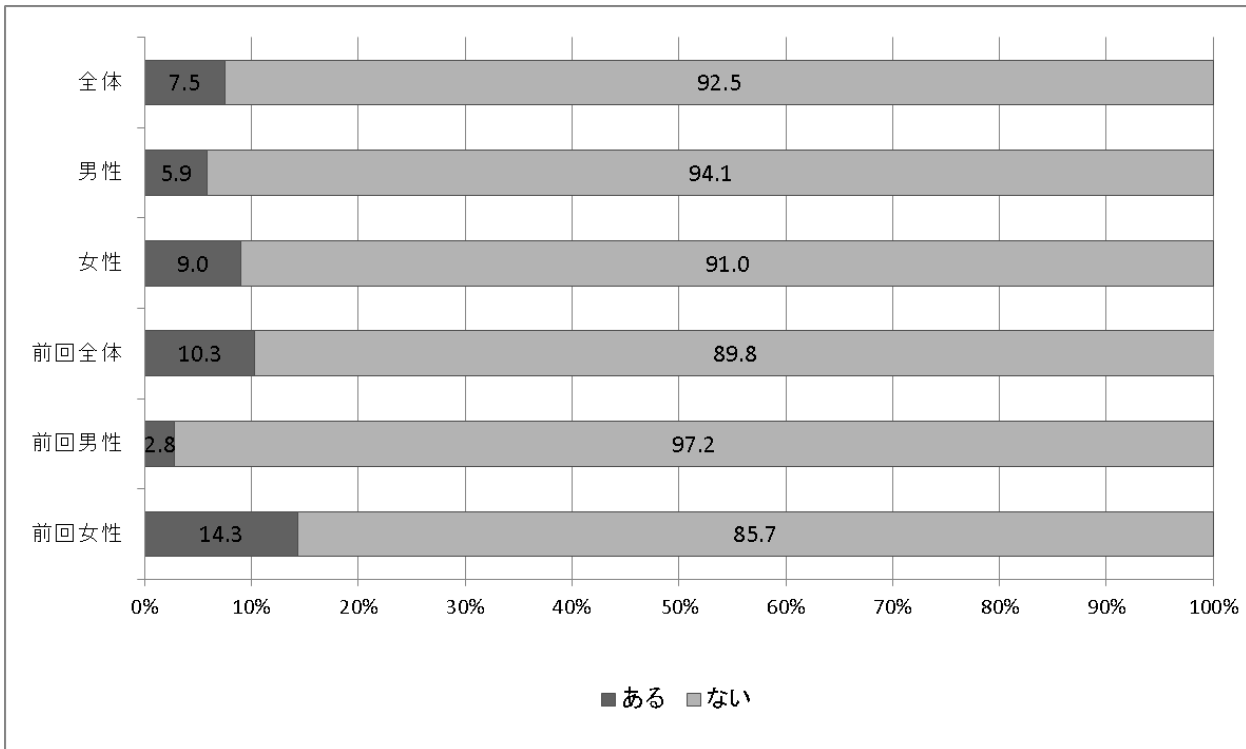


【被害の程度、医師に相談したか】

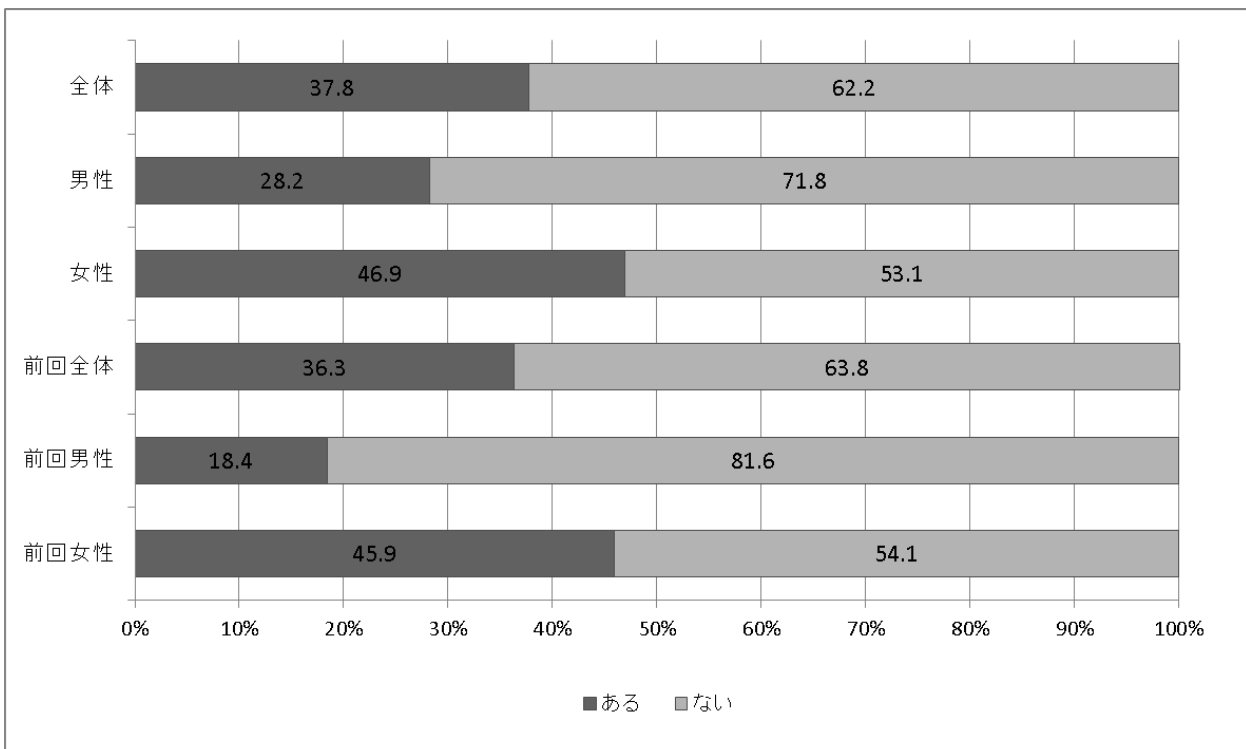
DVにより「命の危険を感じた」が7.5%（男性5.9%、女性9.0%）、怪我をしたり、精神的不調をきたしたことが「ある」が37.8%（男性28.2%、女性46.9%）で、前回に比べ男女差が小さくなっている。

また、怪我や精神的不調で医師等の「診察等を受けたことがあり、行為について打ち明けたり相談をした」は16.0%、「診察等を受けたことがあるが、行為について打ち明けたり相談はしなかった」は12.2%、前回調整に比べ「診察等を受けたことがない」割合が男女とも高くなっている。

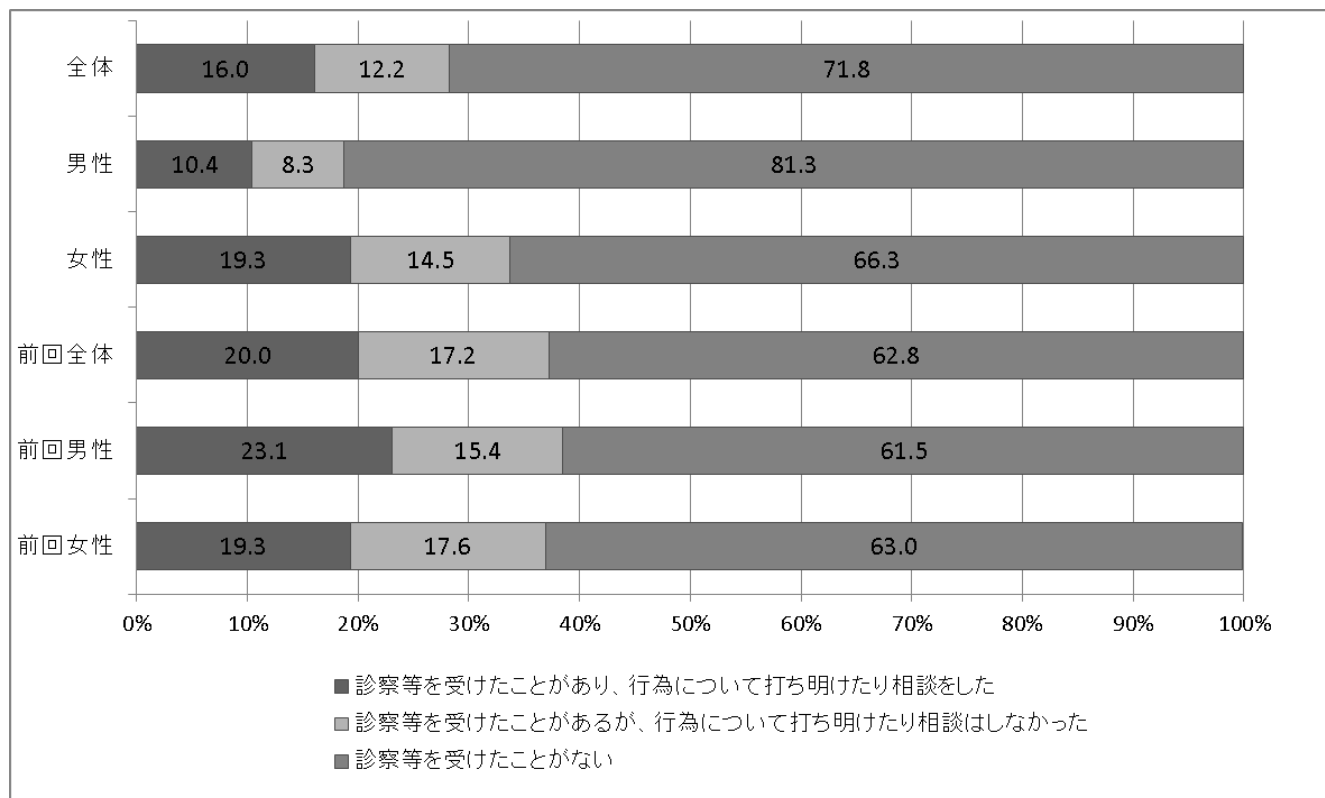
（問） これまでに配偶者からの行為によって命の危険を感じたことがありますか。



（問） これまでに配偶者からの行為によって怪我、精神的不調をきたしたことはありますか。



(問) その怪我や精神的不調について、医師の診察等を受けたことがありますか。またその際に、配偶者からの行為について医師等に打ち明けたり、相談したりしましたか。

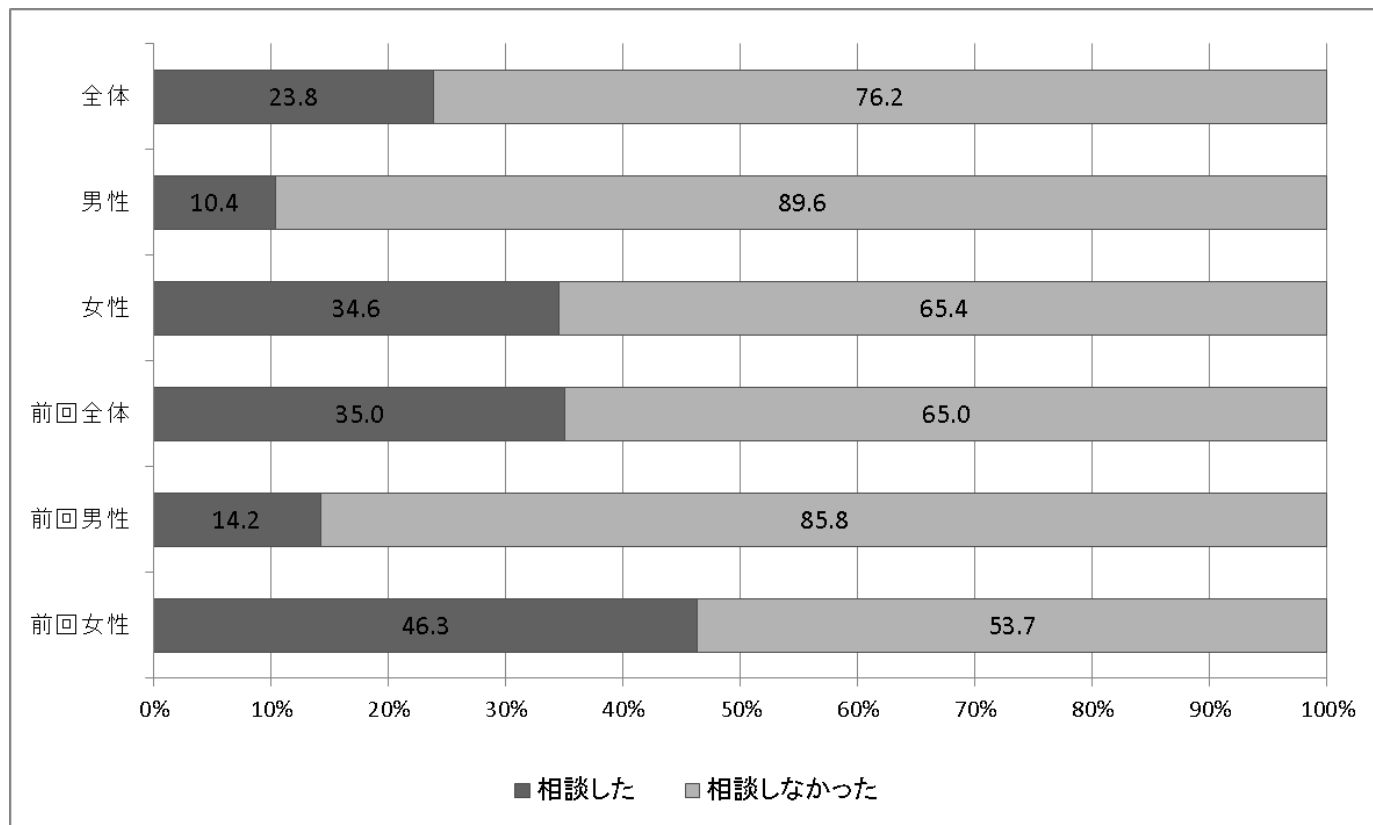


【被害を受けたときに相談したか、相談先】

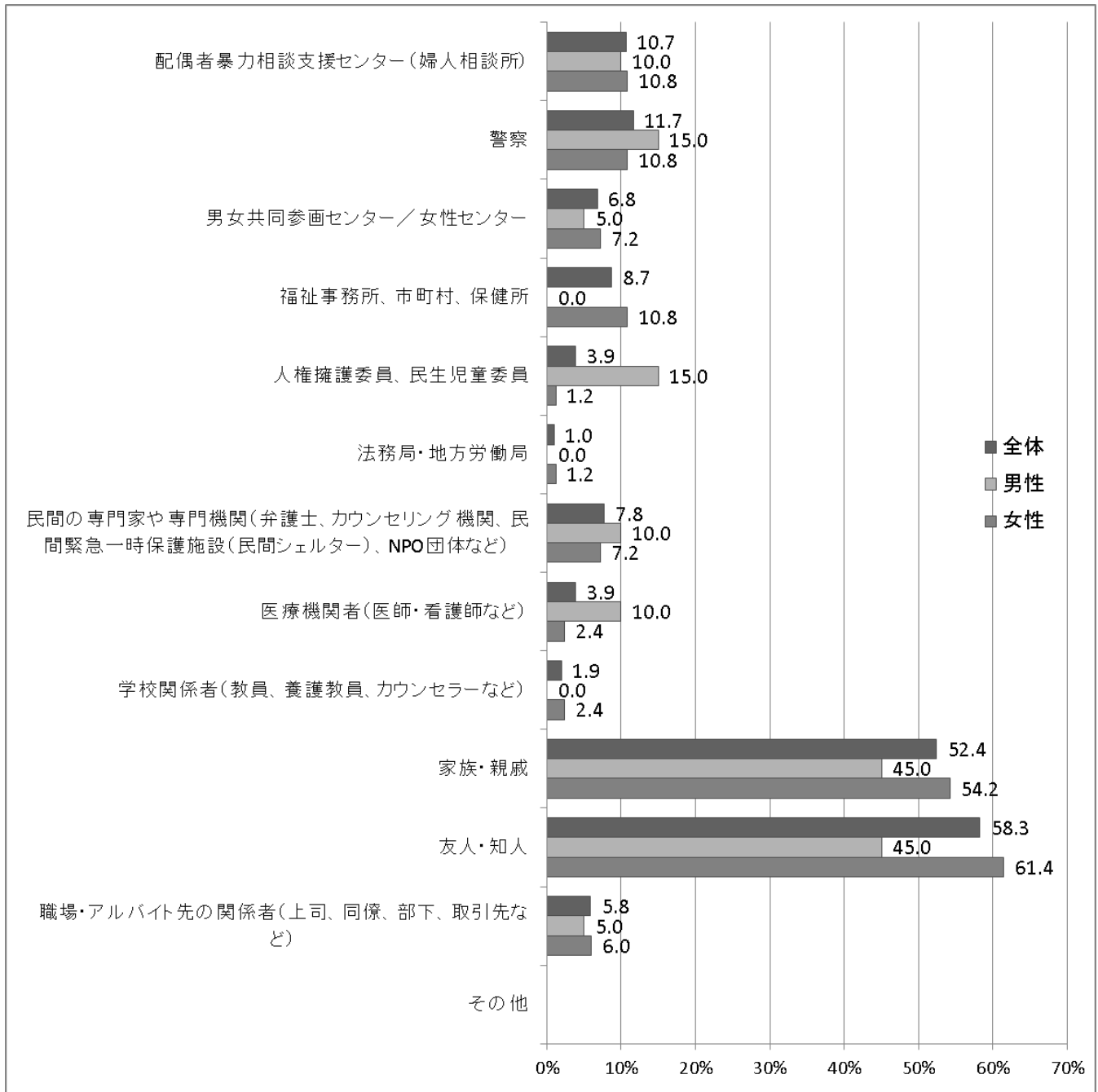
被害を受けたときの相談については、「相談しなかった」が76.2%で、男女別では男性は女性よりも24.2ポイント高く差がある。

相談した場合の相談先は、「知人・友人」58.3%、「家族・親戚」52.4%が特に高く、次いで「警察」が11.7%、「配偶者暴力相談支援センター」が10.7%、それ以外は総じて低い。「人権擁護委員、民政児童委員」では特に男性の割合が高い。

(問) これまでに配偶者から受けた暴力について、誰かに打ち明け、相談しましたか。



●どこ（だれ）かに相談した場合の相談先（「どこ（だれ）にも相談しなかった」を除く）（いくつでも）



【相談しなかった理由】

「相談するほどのことではないと思った」が 35.3%で最も高く、次いで「相談しても無駄だと思った（32.2%）」「自分にも悪いところがあると思った（22.2%）」である。

女性が男性より5ポイント以上高いのは「恥ずかしくてだれにも言えなかった」「相談しても無駄だと思った」「仕返しが怖かった（もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど）」「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った」「自分が受けている行為がDVとは認識していなかった」「他人を巻き込みたくなかった」「他人に知られるとこれまでの通りのつきあい（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思った」、男性が女性より5ポイント以上高いのは「相談するほどのことではないと思った」のみである。

前回調査では、女性が男性より5ポイント以上高いのは「相談してもむだだと思った」「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った」「そのことについて思い出したくなかった」、男性が女性より5ポイント以上高いのは「相談するほどのことではないと思った」となっている。

（問）どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。（いくつでも）

